

沖縄戦の記録 広経大が展示



広島経済大(広島市安佐南区)が沖縄で取り組む戦争体験の聞き取りなどを記録した写真展「女子学徒たちのウムイ(想＝おも＝い)」が12日、東京都千代田区の相田みつを美術館で始まった。7月1日まで。

同大の岡本貞雄教授のゼミ生が2007年から毎年、沖縄県の戦跡を徒歩で巡って元女子学徒たちの証言などを記録。北海道在住の写真家田中正文さん(52)が初回から同行し撮影を続けてきた。

野戦病院跡の薄暗い壕(ごう)の中で学友を失った体験を語る女性、証言に聞き入って涙を流す学生…。会場には田中さんの写真約30点を展示。学生自身が撮影、編集したビデオも上映している。

田中さんはトークショーで「学生と一緒に歩き、はいつくばって撮影した。記憶を継承し、二度と戦争を起こさないよう知恵を出し合いたい」と語った。

16日午後3時から「沖縄戦を語り継ぐ元女子学徒有志の会」の中山きく代表の講演もある。

【写真説明】元女子学徒たちの画像を前に「記憶を記録したい」と語る田中さん